

# まごころサービス

## 〇さんとのお別れ

猪塚 とも

〇さんとやすらぎのお付き合いは5年足らず、105歳の誕生日を迎えることなく穏やかに旅立たれました。ご家族が仕事の関係で東京に住まわれ、ヘルパーの採用や時間割等お嫁さんがして下さいました。

メールが届くたびに「いつも感謝しています」「感謝の気持ちでいっぱいです」と、丁寧な文章を送って下さいました。私は、このご家族から「感謝する」という事を学びました。

こちらこそ「感謝」です。ありがとうございました。

谷本 愛子

8月の終わりに〇さんが104歳で旅立たれました。私は〇さんには一度しかお会いしたことがありませんが、明治・大正・昭和・平成・令和と五つの時代を生き抜いてきたのですから、きっと喜びも悲しみもたくさん経験されたことでしょう。

〇さんにとって住み慣れた家で最期を迎えられたのは何よりも幸せだったと思います。

そして長時間のケア、土日関係なく一生懸命頑張ってくれたヘルパーさんには感謝しかありません。ありがとうございました。

濱本 恵美子

超高齢の利用者さんでしたが、元気な間は認知もなく、ご自身の生活リズムを確立されていた方です。8月に入っても普通食を食べることができていました。食事も亡くなる数日前まで、経口摂取されていました。口腔ケアはご自身でされ、8月末に永眠されましたが、歯の健康の大切さを教えていただきました。

最後まで住み慣れた家で過ごすことができる幸せ、家族及び介護者は大変なこともありますが、本人にとっては幸せな人生だったと思います。

藤川 栄

入院や施設は“いや”と言っていた〇さん。体調を崩されることもありましたが、その都度〇さんらしく気丈に復活し、105歳までとって思っていました。残念ながら8月29日、家族や看護師に見守られ静かに旅立ってしまわれました。最後まで自宅で過ごせ口から好きな物も食べられみんなに囲まれよかったですと思います。

私も自分らしく悔いがないよう精いっぱい生きたいと思います。

〇さん 安らかに！！